

○ 非財務・未財務データ

データの信頼性担保のため、2022年のすべての環境データと一部の社会データについてソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による第三者保証を取得しています。サステナビリティWebサイトのESGデータ [🔗](#)には、各データに対応するGRIスタンダードの該当項目など詳細な情報を掲載しています。

🔗 ESG データ

www.bridgestone.co.jp/csr/esg_data/index.html

○太字の項目の2022年データは、第三者保証を取得しています。

環境関連データ ¹	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	単位
原材料						
原材料使用量	5,233	5,051	4,150	4,611	4,389	千トン
資源生産性 ²	6.98	6.98	7.22	7.04	9.36	億円/千トン
再生資源または再生可能資源に由来する原材料の比率 ³	—	—	37	37	38	%
(うち 再生可能資源に由来する原材料の比率) ³	—	—	26	26	26	%
(うち 再生資源に由来する原材料の比率) ³	—	—	11	11	12	%
エネルギー						
エネルギー総消費量(生産拠点+非生産拠点) ^{4,5}	46,014	45,002	38,311	42,726	45,132	千GJ
エネルギー消費量(燃料) ^{5,6}	26,881	26,192	22,032	24,668	25,959	千GJ
エネルギー消費量(購入電力) ⁵	4,929	4,852	4,192	4,654	5,012	千MWh
エネルギー消費量(購入蒸気) ⁵	1,429	1,382	1,191	1,248	1,111	千GJ
エネルギー総消費量(再生可能エネルギー) ⁵	885	953	1,767	2,847	4,702	千GJ
エネルギー総消費量(非再生可能エネルギー) ⁵	45,130	44,049	36,545	39,879	40,429	千GJ
水						
総取水量 ⁷	71,303	68,303	63,744	66,744	68,039	千m ³
取水量(表流水)	2,926	3,131	2,856	2,729	3,217	
取水量(地下水)	10,312	9,708	8,480	9,086	8,942	
取水量(上水道・工業用水)	18,384	17,619	16,137	17,249	16,954	
取水量(海水)	39,681	37,844	36,271	37,678	38,927	
水ストレス地域における生産拠点の総取水量 ⁸	3,495	3,208	2,873	2,981	2,712	

¹ 対象期間は各年とも1～12月、一部推計値含む(過去データの見直しにより、過去の掲載データから一部変更あり)

² 資源生産性=売上高÷原材料使用量

³ リトレッド用台タイヤを含むタイヤの総原材料重量に占める比率

⁴ 「燃料消費量+購入電力+購入蒸気+太陽光発電等一充電量」により算出

⁵ 2022年度のデータは生産拠点と非生産拠点の合算値、2018年から2021年のデータは生産拠点のみの値

⁶ 自家発電に利用した燃料も含む

⁷ 外部から購入したりサイクル水の量や雨水は含まない

⁸ 水ストレス地域における生産拠点：淡水資源の量や質の低下のリスクがある地域に所在することにより水リスクを抱える生産拠点

環境関連データ	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	単位
大気への排出						
温室効果ガス排出量：生産拠点 (CO ₂ 、Scope 1)	1,868	1,807	1,504	1,722	1,711	千t-CO ₂
温室効果ガス排出量：生産拠点 (CO ₂ 、Scope 2、マーケットベース)	2,263	2,139	1,659	1,664	1,370	千t-CO ₂
温室効果ガス排出量：生産拠点 (CO ₂ ：Scope 1 + Scope 2、マーケットベース)	4,131	3,946	3,162	3,387	3,081	千t-CO ₂
温室効果ガス排出量：非生産拠点 (CO ₂ ：Scope 1 + Scope 2、マーケットベース)	—	—	—	—	211	千t-CO ₂
温室効果ガス排出量 (CH ₄ , N ₂ O：Scope 1、2)	17	16	14	16	14	千t-CO ₂ e
温室効果ガス排出量 (Scope 3) ⁹	125,110	110,378	100,097	113,421	109,688	千t-CO ₂
NOx排出量 ¹⁰	2,041	1,969	1,629	1,839	1,875	トン
SOx排出量 ¹⁰	937	850	603	588	500	トン
廃棄物						
廃棄物排出量 ¹¹	352	359	289	289	285	千トン
廃棄物再資源化量 ¹²	311	308	259	272	268	千トン
廃棄物再資源化率 ¹³	88	86	90	94	94	%
廃棄物埋立量	41	52	30	17	17	千トン
規制有害廃棄物排出量 ¹⁴	20	21	19	20	25	千トン
環境マネジメント						
ISO14001取得率 ¹⁵	98.7	98.1	98.0	99.3	100	%

⁹ GHGプロトコルのScope 3における15のカテゴリのうち、カテゴリ 8、13は対象外

¹⁰ 化石燃料燃焼由来の排出量、燃料消費実績と排出係数から算定

¹¹ 非有害廃棄物と規制有害廃棄物を含む廃棄物排出量の合計値

¹² 「廃棄物排出量 - 廃棄物埋立量」により算出

¹³ 「廃棄物再資源化量 ÷ 廃棄物埋立量」により算出

¹⁴ 各国の法規制を参照し集計。2022年より規制有害廃棄物の算定範囲を一部拡大

¹⁵ 取得対象生産拠点 (113か所) 中の取得率 (2022年末時点)

非財務・未財務データ

社会関連データ	日本 ¹	米州	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	中国・アジア・大洋州	合計	単位
従業員数 ²	38,389	50,198	21,591	19,084	129,262	人

¹「日本」には、有価証券報告書における「日本」「その他」「全社（共通）」セグメントを含んでいます。

² 2022年12月末時点

社会関連データ	セグメント	全体	トップ マネジメント ²	マネジメント ポジション ³		その他 スタッフ	単位
				ジュニア マネジメント ポジション ⁴	マネジメント ポジション 合計		
女性比率 ¹	日本 ⁵	12.2	6.1	4.3	6.4	5.3	%
	米州	12.6	25.5	23.2	10.4	14.8	
	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	12.6	15.1	14.6	18.8	17.6	
	中国・アジア・大洋州	9.7	12.6	19.0	23.6	22.8	
	合計	12.0	10.7	11.6	12.5	12.1	

¹ 就業人員に基づいた割合を示しています（データは2022年12月末時点、128,811人（グループ全体の99.4%））。

² トップマネジメントとは、各社におけるCEO配下の2ポジションまでの従業員（役員含む）を指しています。

³ マネジメントポジションには、トップマネジメントポジションとジュニアマネジメントポジションを除くすべての管理職を含んでいます。

⁴ ジュニアマネジメントポジションとは、組織の日々の管理目標を指導する立場である者を指しています。

⁵ 「日本」には、有価証券報告書における「日本」「その他」「全社（共通）」セグメントを含んでいます。

社会・ガバナンス関連データ		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	単位
グローバル経営執行会議体 (Global EXCO) メンバー	全体	9	14	11	11	12	人
	うち外国人	5	7	6	6	6	人
	外国人比率	55.6	50.0	54.5	54.5	50.0	%
執行役・常務役員 ¹	全体	52	60	51	16	20	人
	うち外国人	10	11	9	5	7	人
	外国人比率	19.2	18.3	17.6	31.3	35.0	%
製品安全	ISO9001取得率	99.3	99.4	100	99.2	100	%
製品保証引当金	期首残高	—	6,308	8,459	9,040	6,797	百万円
	目的使用による減少	—	4,186	11,371	6,030	5,469	百万円
労働安全	従業員及び派遣社員の休業度数率 (LTIFR)	—	2.86	2.57	2.75	2.74	—
	協力会社の休業度数率 (LTIFR)	—	1.86 ²	2.31	0.79	0.62	
	従業員及び派遣社員の重傷度数率	—	0.09	0.04	0.08	0.08	
	協力会社の重傷度数率	—	0.29 ²	0.19	0.11	0.06	
	従業員及び派遣社員の職業性疾病度数率	—	—	0.50 ³	1.33	0.68	

・ データは各年12月末時点

¹ 連結グループ会社所属で（株）ブリヂストンの執行役・常務役員を兼務している者を含んでいます。2020年に執行役員制度を廃止し、2021年より執行役・常務役員のみをカウントしています。

² 2019年7月から12月までの6か月間のデータ

³ 2020年7月から12月までの6か月間のデータ